



■神の右の座に着く

Act 2:32 このイエスを、神はよみがえらせた。そして、わたしたちは皆その証人なのである。Act 2:33 それで、イエスは神の右に上げられ、父から約束の聖霊を受けて、それをわたしたちに注がれたのである。このことは、あなたがたが現に見聞きしているとおりである。:34 ダビデが天に上ったのではない。彼自身こう言っている、『主はわが主に仰せになった、:35 あなたの敵をあなたの足台にするまでは、わたしの右に座していなさい』。

■サレムの王メルキ・ゼデク

Gen 14:18 その時、サレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒とを持ってきた。彼はいと高き神の祭司である。:19 彼はアブラムを祝福して言った、「願わくは天地の主なるいと高き神が、アブラムを祝福されるように。:20 願わくはあなたの敵をあなたの手に渡されたいと高き神があがめられるように」。アブラムは彼にすべての物の十分の一を贈った。

■年に1度、大祭司のいけにえ

(ヨム・キプール、あがないの日、断食)

Lev 16:33 彼は至聖所のために、あがないをなし、また会見の幕屋のためと、祭壇のために、あがないをなし、また祭司たちのためと、民の全会衆のために、あがないをしなければならぬ。:34 これはあなたがたの永久に守るべき定めであって、イスラエルの人々のもろもろの罪のために、年に一度あがないをするものである」。

Lev 23:27 「特にその七月の十日は贖罪の日である。・・

■永遠の契約による大祭司

Hbr 5:1 大祭司なるものはすべて、人間の中から選ばれて、罪のために供え物といけにえとをささげるように、人々のために神に仕える役に任じられた者である。

Hbr 8:1 以上述べたことの要点は、このような大祭司がわたしたちのためにおられ、天にあって大能者の御座の右に座し、:2 人間によらず主によって設けられた真の幕屋なる聖所で仕えておられる、ということである。

Hbr 10:12 しかるに、キリストは多くの罪のために一つの永遠のいけにえをささげた後、神の右に座し、

■ダビデの町のギホンの泉（湧き水＝生ける水）

1Kg 1:33 王は彼らに言った、「あなたがたの主君の家来たちを連れ、わが子ソロモンをわたしの驃馬に乗せ、彼を導いてギホンに下り、:34 その所で祭司ザドクと預言者ナタンは彼に油を注いでイスラエルの王としなさい。そしてラッパを吹いて、『ソロモン王万歳』と言いなさい。